

「話すこと [発表]」の指導における自分の住む町の魅力をPRする活動（中学校）

1 単元名

Sunshine English Course3 Our Project8 「あなたの町を世界にPRしよう」

2 内容のまとめ

中学校第3学年 「話すこと [発表]」イ

3 単元の目標

自分の住む町の魅力を外国人観光客に知ってもらうために、観光地や特産物について、既習の言語材料の意味や働きの理解を基に、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、話すことができる。

4 単元の評価規準「話すこと [発表]」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] 既習の言語材料の意味や働きを理解している。 [技能] 既習の言語材料の意味や働きの理解をもとに、地元の魅力について話す技能を身に付けている。	自分の住む町の魅力を外国人観光客に知ってもらうために、観光地や特産物について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、話している。	自分の住む町の魅力を外国人観光客に知ってもらうために、観光地や特産物について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、話そうとしている。

5 指導と評価の計画（5時間）

※網掛けは、評価したことを記録に残す場面

時数	ねらい（■）、主な言語活動等（丸数字）	知	思	態	評価方法
1	■単元の目標を理解し、学習活動の見通しをもつ。 ■モデル動画を視聴し、概要を理解した上で、自分の住んでいる町の魅力について考える。 ①モデル動画や文の概要を理解する。 ②ペアで自分の町の魅力について伝え合い、その後、全体共有しマッピングを用いてまとめる。	○	○		
2	■地元の魅力を外国の人に知ってもらうために、地元の名産や場所について紹介する動画の構想を立てる。 ①ペアでPRするものを決め、それまでに学習した言語材料を使い、スキットの台本を考え書く。	○	○		
3	■動画撮影に向けて、スキットの発表練習をする。 ①個人・ペアでスキットの練習をする。 ②他のペアと互いにスキットを演じ、アドバイスし合う。		○	○	
4	■地元の魅力を外国の人に知ってもらうためのスキットを発表する。（パフォーマンステスト） ①スキットを演じる。（動画に撮影する） ②他のペアの発表に対して評価とコメントを書き、伝え合う。	○	○	○	行動観察 内容分析
5	■完成したPR動画を視聴し、振り返りを行う。 ①自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明確にする。		○	○	ワークシート 内容分析

【POINT】

単元のはじめに、ゴールイメージを共有します。生徒にとって魅力的な課題を提示するなど、主体的に学習に取り組む意欲を高めることが大切です。



【POINT】

ルーブリックを提示し、単元で身に付ける資質・能力を共有するとともに、個人目標を設定します。個人目標を意識して練習を進め、他のペアと相互評価しながら、よりよい発表となるよう取り組ませることが大切です。



【POINT】

完成した動画は、野付半島ネイチャーセンター内で外国人観光客に向けて、常時、上映されます。また、施設内の土産店とレストランで、PR動画を見たことを知らせれば、一部商品の割引が受けられるなど、より多くの人に動画に興味をもってもらう工夫をしています。生徒の目的意識や相手意識を高めるとともに、地元産業に関わる喜びや達成感を味わわせることが大切です。



「話すこと [発表]」の指導における自分の住む町の魅力をPRする活動（中学校）

6 評価例

「話すこと [発表]」（知識・技能）（思考・判断・表現）

<p>評価場面</p>	<p>パフォーマンステスト 活動内容：自分の住む町の魅力を外国人観光客に知ってもらうために、観光地や特産物について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表する。</p>																		
<p>評価方法</p>	<p>生徒の発表内容の分析</p>																		
<p>課題</p>	<p>自分の住む町の魅力を外国人観光客に知ってもらうために、観光地や特産物を選び、それを紹介するPR動画を作ります。ペアでのやり取りを通して、選んだ場所や物の魅力を伝えるスキットを演じてください。完成した動画は、野付半島ネイチャーセンター内で上映され、それを見た観光客は館内の土産店やレストランで割引を受けられることになっています。</p>																		
<p>採点の基準</p>	<p>生徒にループリックを示すときは、3観点を（ ）内の言葉に置き換え提示します。</p> <table border="1" data-bbox="336 656 1362 1149"> <thead> <tr> <th data-bbox="336 656 395 723"></th> <th data-bbox="395 656 719 723">知識・技能 (英文や発音の正確さ)</th> <th data-bbox="719 656 1043 723">思考・判断・表現 (構成・情報量)</th> <th data-bbox="1043 656 1362 723">主体的に学習に取り組む態度 (伝える工夫)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="336 723 395 913">a</td> <td data-bbox="395 723 719 913">誤りのない正しい英文・発音で話すことができる。</td> <td data-bbox="719 723 1043 913">外国人観光客が、自分の住む町の魅力を理解しやすいように、分かりやすい構成や十分な情報量で伝えている。</td> <td data-bbox="1043 723 1362 913">外国人観光客が、自分の住む町の魅力を理解しやすいように、分かりやすい構成や十分な情報量で伝えようとしている。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 913 395 1104">b</td> <td data-bbox="395 913 719 1104">誤りや聞き取りづらいところが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文・発音で話すことができる。</td> <td data-bbox="719 913 1043 1104">構成や情報量がやや不十分であるが、伝えている。</td> <td data-bbox="1043 913 1362 1104">構成や情報量がやや不十分であるが、伝えている。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1104 395 1149">c</td> <td data-bbox="395 1104 719 1149">「b」を満たしていない。</td> <td data-bbox="719 1104 1043 1149">「b」を満たしていない。</td> <td data-bbox="1043 1104 1362 1149">「b」を満たしていない。</td> </tr> </tbody> </table>				知識・技能 (英文や発音の正確さ)	思考・判断・表現 (構成・情報量)	主体的に学習に取り組む態度 (伝える工夫)	a	誤りのない正しい英文・発音で話すことができる。	外国人観光客が、自分の住む町の魅力を理解しやすいように、分かりやすい構成や十分な情報量で伝えている。	外国人観光客が、自分の住む町の魅力を理解しやすいように、分かりやすい構成や十分な情報量で伝えようとしている。	b	誤りや聞き取りづらいところが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文・発音で話すことができる。	構成や情報量がやや不十分であるが、伝えている。	構成や情報量がやや不十分であるが、伝えている。	c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。
	知識・技能 (英文や発音の正確さ)	思考・判断・表現 (構成・情報量)	主体的に学習に取り組む態度 (伝える工夫)																
a	誤りのない正しい英文・発音で話すことができる。	外国人観光客が、自分の住む町の魅力を理解しやすいように、分かりやすい構成や十分な情報量で伝えている。	外国人観光客が、自分の住む町の魅力を理解しやすいように、分かりやすい構成や十分な情報量で伝えようとしている。																
b	誤りや聞き取りづらいところが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文・発音で話すことができる。	構成や情報量がやや不十分であるが、伝えている。	構成や情報量がやや不十分であるが、伝えている。																
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。																
<p>生徒の発表例</p>	<p>生徒 A: Notsuke is famous for scallops. But I recommend another shellfish. 生徒 B: What's that? 生徒 A: Clams! 生徒 B: Oh, clams! I like them. They are so tasty! We eat them in miso soup or spaghetti. 生徒 A: If you come to Notsuke in May or June, you can enjoy clam digging. 生徒 B: Wow! That's fun. 生徒 A: In our school, we volunteered an activity <u>to increase the number of clams.</u> <u>The clams we spread grow big.</u> 生徒 B: By the way, can we buy clams here? 生徒 A: No. But you can eat them in Notsuke ramen at the restaurant on the 1st floor. 生徒 B: Wow. It looks delicious. 生徒 A: And you can buy the clam soy sauce at the gift shop. 生徒 B: It is the best souvenir from Notsuke. 生徒 A: Yes. You can get this only here. Don't miss it.</p>																		
<p>評価例</p>	<table border="1" data-bbox="336 1731 1362 2063"> <tbody> <tr> <td data-bbox="336 1731 852 2063"> <p>生徒 A 〔知・技〕・・・a 正しい英文、発音で話すことができている。 〔思・判・表〕・・・a <u>自分の住む町の魅力を聞き手が理解しやすいように、接続詞、不定詞、後置修飾などの既習事項を適切に使用し、十分な情報量で伝えている。</u></p> </td> <td data-bbox="852 1731 1362 2063"> <p>生徒 B 〔知・技〕・・・b 時折、時制の間違いやカタカナ英語の発音が見られる。 〔思・判・表〕・・・b 自分の住む町の魅力を外国人観光客に知ってもらうために、情報量はやや不十分だが、分かりやすい構成で発表している。</p> </td> </tr> </tbody> </table>			<p>生徒 A 〔知・技〕・・・a 正しい英文、発音で話すことができている。 〔思・判・表〕・・・a <u>自分の住む町の魅力を聞き手が理解しやすいように、接続詞、不定詞、後置修飾などの既習事項を適切に使用し、十分な情報量で伝えている。</u></p>	<p>生徒 B 〔知・技〕・・・b 時折、時制の間違いやカタカナ英語の発音が見られる。 〔思・判・表〕・・・b 自分の住む町の魅力を外国人観光客に知ってもらうために、情報量はやや不十分だが、分かりやすい構成で発表している。</p>														
<p>生徒 A 〔知・技〕・・・a 正しい英文、発音で話すことができている。 〔思・判・表〕・・・a <u>自分の住む町の魅力を聞き手が理解しやすいように、接続詞、不定詞、後置修飾などの既習事項を適切に使用し、十分な情報量で伝えている。</u></p>	<p>生徒 B 〔知・技〕・・・b 時折、時制の間違いやカタカナ英語の発音が見られる。 〔思・判・表〕・・・b 自分の住む町の魅力を外国人観光客に知ってもらうために、情報量はやや不十分だが、分かりやすい構成で発表している。</p>																		